宮崎県の口蹄疫疑似患畜の発生を受けて

萩農林事務所畜産部
平成22年4月22日

４月20日に宮崎県での口蹄疫疑似患畜の発生があったことから、21日に萩農林事務所畜産部では、管内市町、ＪＡ、家畜診療所、飼料会社等の関係者を招集し、管内緊急防疫会議を開催しました。

この会議は、今回の口蹄疫疑似患畜発生に関する情報の共有と畜産部が現在どういう対策を講じているか、また、関係者に対して消毒薬の紹介と使用法を徹底し、畜産農家巡回時の防疫に対する注意の喚起を行うことを目的に実施したものです。

特に、家畜診療所に対しては、家畜に異常(病気)が起きた時の第一線の接点になることから、畜産農家からの申告等で伝染病が疑われた場合の対処と畜産部への情報伝達等の連携を依頼するとともに畜産関係者との情報交換により伝染病発生時の対処を再確認することができ、今以上に家畜防疫の重要性の再認識と周知を図ることができました。

今後も、畜産部は畜産関係者、関係機関との連携を密にしながら、家畜伝染病の危機から畜産農家と経営を守り続けます。

緊張感あふれる会議